

はと組

— 2学期目標 —

- ◎ 友だちとの遊びを楽しみながら、自分の気持ちを伝えようとする
- ◎ 様々な行事への期待を持ちながら、練習や活動に参加しようとする



— 活動内容 —

おいもほり

(健康な心と身体、共同性、社会生活との関わり、思考力の芽生え、

自然との関わり・生命尊重、豊かな感性と表現)

- ・ 10月初めに芋掘りに行くにあたり、さつまいもの図鑑を読んだ。載っていた写真を見て「大きい！」や「細長いね～」など様々な声が聞こえた。
- ・ 芋掘りの場所へドライブに行き気持ちを膨らませていた。
- ・ 当日はバスの中で「どんなお芋があるのかな」「いっぱいほれるかな」と楽しみにしていた。
実際に掘ってみるとなかなか顔を出してくれないお芋。「はやくてきてー」と言いながら一生懸命掘っているが見られた。
- ・ 園に戻り、お芋を洗って乾かして後日、給食室に届けに行った。給食で出てきたさつまいもを見つけて嬉しそうに食べている姿が見られた。
- ・ 読んだ図鑑や収穫体験を参考に新聞紙を丸めてお芋を作った。まん丸や細長いものなどそれぞれ個性豊かなお芋が出来た。
- ・ 芋製作では、紫色の絵の具を手につけて新聞紙に色を塗った。「冷たい」「さらさらしてる」など絵の具の感触を楽しんでいた。



自信がついたよ！

(自立心、共同性、道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生え、

言葉による伝え合い)

- ・ 初めての事や人前に出るのが苦手な子どもが多いように感じた為、保育者と一緒に取り組んだり、毎日の当番活動を通して代表で前に立つ経験が出来るようにした。
- ・ 自分から前に立つのが難しい子どもには「今日は何を頑張る？」と問いかけ、小さい事一つでも子どもが自分で目標を立てられるように促す。
- ・ 子どもたち同士のやり取りの中で流行が生まれ、毎日繰り返し楽しんでいる姿が見られた。その中でも歌を歌っている子どもが多く、礼拝後の季節の歌に取り入れたことで全体に広まり、一人が歌いだしたら他の遊びをしていた子ども達も一緒に歌っている姿が見られた。
- ・ 運動会では不安な気持ちや緊張で動けなかった子どもも、クリスマス祝会では「これを頑張る」と決めて最後までやりきることが出来た。
- ・ 祝会ごっこでは自分の曲だけでなく他もクラスの曲もステージに上がって踊っている姿が見られた。
- ・ 成功体験を重ねることで自信がつき笑顔も増えて、「次もやりたい！」という声が聞こえてくるようになった。

— 2学期の反省 —

- ・ 行事の練習を通して子ども達同士で応援し励まし合ったり、出来たことを一緒に喜んだりすることで少しずつ挑戦しようとする姿が増えてきた。
- ・ おままごとや人形を使ったごっこ遊びが多く見られるようになり、子どもたち同士で話し合いながら楽しんでいる。その中で、人形の取り合いや配役でトラブルになる事もあったが譲り合ったり、二人で同じ役をしたり工夫している姿が見られた。引き続き、子ども達の流行や興味関心を取り入れた活動を行っていきたい。
- ・ 園外保育に出かける機会が多くあった。しかし、季節や自然を感じられるような活動が少なかった。3 学期は散歩や戸外遊びを通して冬の自然を感じられるようにしていきたい。

— 3学期の目標 —

- ◎ 基本的習慣を身に着け、身の回りのことを自分でしようとする
- ◎ 友だちや保育者とのやり取りの中で自分の気持ちを言葉で伝え、相手の言葉を聞き、理解しようとする